

クロマチン研究

～ゲノム・タンパク質・細胞からの理解～

日時：2025年1月17日（金） 11:20～17:10

場所：千里ライフサイエンスセンタービル 5F 山村雄一記念ライフホール（WEB配信併用）

コーディネーター：

胡桃坂 仁志 東京大学 定量生命科学研究所 クロマチン構造機能研究分野 教授

大川 恭行 九州大学 生体防御医学研究所 トランスクリプトミクス分野 教授

開催趣旨：

19世紀後半にWalther Flemmingは染色体を発見した。染色体では、DNAが4種類のヒストンタンパク質によって折り畳まれて“クロマチン”と呼ばれる繊維状の構造を形成している。1974年にクロマチンの基盤構造“ヌクレオソーム”が発見されたが、その機能は長大なゲノムDNAを折り畳むことのみと考えられていた。しかし近年、クロマチン構造が、ゲノムDNAの制御に重要な役割を果たすことが明らかになってきた。本シンポジウムでは、クロマチンによるDNA制御について、最新の知見を含めて紹介する。

11:25 - 11:40 はじめに

胡桃坂 仁志 東京大学 定量生命科学研究所 クロマチン構造機能研究分野 教授

11:40 - 12:20 「単一細胞マルチオミクスによる骨格筋分化制御機構の解明」

大川 恭行 九州大学 生体防御医学研究所 トランスクリプトミクス分野 教授

12:20 - 13:00 「乳がんの再発に関わるクロマチン相互作用RNA」

斉藤 典子 公益財団法人がん研究会 がん研究所 がん生物部 部長

－ 昼 食 －

14:10 - 14:50 「染色体工学技術によるデザイナー細胞・動物の作製と応用」

香月 康宏 鳥取大学 医学部 生命科学科 染色体医工学講座 教授

14:50 - 15:30 「精子形成過程におけるヒストン-プロタミン置換の追跡」

岡田 由紀 東京大学 定量生命科学研究所 病態発生制御研究分野 教授

－ 休 憩 －

15:40 - 16:20 「遺伝子発現とクロマチンの生細胞ダイナミクス」

木村 宏 東京科学大学 総合研究院 細胞制御工学研究センター 教授

16:20 - 17:00 「クロマチンが遺伝情報をコントロールする仕組み」

胡桃坂 仁志 東京大学 定量生命科学研究所 クロマチン構造機能研究分野 教授

17:00 - 17:10 おわりに

大川 恭行 九州大学 生体防御医学研究所 トランスクリプトミクス分野 教授

■参加費：無料 ■定員：会場参加 100名、WEB参加 500名

セミナー終了後、交流会（名刺交換会）を開催します。是非、会場にお越し下さい。

■申込方法：参加希望者は、当財団ホームページの「参加申込・受付フォーム」からお申込み下さい

<https://www.senri-life.or.jp/event/2420/>

■お問い合わせ：千里ライフサイエンス振興財団 セミナーW5事務局

E-mail: sng-2023@senri-life.or.jp

TEL：06-6873-2006



セミナーW5
Webサイト

主催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

後援：バイオコミュニティ関西